



こんにちは!

金井ひろしです。 区政・活動報告レポート

District Administration Report & Activity Report **No.4**

連絡先 〒152-0032 東京都目黒区平町 1-21-20-303

TEL 080-5195-2909

E-mail : kanai.hi64@gmail.com

Official Web Site URL : <https://kanai-hi64.com/>

ホームページ



facebook



ツイッター



誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".

누구나 같이 배우고, 성장하고, 「같이 사는 세상!」

全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向荣”

立憲民主党

1 新型コロナウイルス感染拡大と区議の仕事

新型コロナウイルスでお亡くなりになった方々に哀悼の意を表すると共に、罹患された方々およびご家族の方々に心よりお見舞いを申し上げます。

これから区議会議員を12か月間やってみて思ったことを、区民のみなさんへお伝えしたいのですが、その前にたったいま私たちの生活を苦しめている「コロナ」についていくつか報告しておきたいです。

3面の記事にも書きましたが、いままで経験したことがない厳しい社会状況になっています。

私がフィールドワークとする福祉の現場について、居宅サービスと移動支援に絞ってお話します。

居宅サービスの依頼は減っていません。しかしヘルパーさんたちに新型コロナウイルス感染のリスクがあることから人員が決定的に不足してきました。リスクを承知で活動するヘルパーさんたちで、この状況を持ち堪えています。いずれ限界がくることはあきらか、そのときの対応策に追われています。

移動支援は、学校休校で登下校支援がなくなり、「不要不急の外出自粛」で余暇支援もほぼゼロですから、移動支援をする事業所の収入が激減しています。そのために多くの事業所の運営が困難になって、事業継続と人材確保に不安が発生しています。移動支援がひどく弱体化してしまうと危惧しています。

以上のことは緊急事態を想定していなかった行政制度の問題点なのですが、すぐに対策をとらないと手遅れになる心配があります。支援を必要とする人びとと支援をする事業所が困っている。

目黒区に補正予算による事業所への資金援助を求めるためにも、予算は税金ですから公正な調査データがないと使えません。

そのために私は、30か所の事業所の実態調査を開始しました。この調査がまとめれば、資金援助の実現へ一歩前進すると思います。利用できる事業所がなくなる、福祉人材がいなくなってしまうこと、これは地域で生活する障害児・者にとっては致命的です。そうならないようにしっかり取り組んでいきます。

新人区議12か月活動のご報告
いま区民のみなさんへ
お話ししたい5つのこと



立憲民主・
目黒フォーラム
金井ひろし

2 子ども食堂の現場で考える児童相談所の新設

ボランティア活動でやってきた「子ども食堂」が中断しています。動くに動けないのです。「3密」になるし、「食事を配るから集まれ!」も不要不急かどうかかわからないけれど「外出」になる。かといって困っている子どもへ宅配する人手も名簿もない。「困っている」という連絡を受ける手立てもありません。

残念ながら、お手上げ状態ですが、状況の変化がありますから、対応策を考えています。

学校給食を食べられないために痩せてしまう子どもがいる現実があるからです。生活保護をうけている子育て家庭に、昼食手当てを支給するために、私は活動を始めています。

また、保育行政の根本を整備するために、目黒区は独自の児童相談所がないので、それを新設する政策提案をしたいと思い活動を開始しています。

3 区議の仕事は区民のみなさんの声を聞くこと

区議の仕事は、およそ1か月続く年4回の区議会に出席して、区民のみなさんの立場で政策議論に参加し、質問をしたり質疑をするのが第一ということになっていきます。

そのために公費で視察に出て、他の自治体の政策を現場で学ぶこともありますが、それではまったく足りない。

自分の足で生活現場を歩き、現実を見て、区民のみさんの声を聞くことこそ、もっとも大事な区議の仕事だと思いました。

日常的には区役所に議員控え室があって、そこの事務机でオフィスワークをする。調査したいことがあれば調べ、区役所の担当者に聞いてデータや資料を提供してもらう。そして政策を立案したり質問や質疑を考えたり、他の区議と話し合い議論を深めて問題の本質を考えます。

私の場合は、福祉の現場での仕事も継続していますし、地域の子ども会でのボランティア活動も続けていますから、これらの活動で見たり聞いたり考えたりすることで、私の考えを鍛えてくれます。こうした現場での活動なくして、私が区議をやらせていただいている意味はないと思っています。 [次のページへ続く]

4 区議を12か月やってみて思う 時代遅れの議会

区議会について「こういうところだ」という実感や手応えを、ひと口で言うのが、まだ難しいですね。

区議会での質疑は、すべて事前に書類で通告し、議長も議事進行の書類を読んでいるし、区長と区役所も回答を書いた書類を読み上げる。

ようするに書類と書類を交換しているのですから、正確な内容の質疑になっていると言えば、そうなのでしょう。

それで決議したり、質疑で改善すると回答したことは、区役所がちゃんと実行していくことはわかりました。区役所の現場の人たちは、きちんとした仕事をしています。

ただし、書類の交換をするだけならば、集まって議会議をしないでできる。

せっかく集まって顔と顔を合わせているのですから、自分の頭と言葉で議論すれば、問題意識が共有化できて、新しいアイデアが生まれてくると思うのですが、それができないのです。

これほど世の中が変化しているのに、議会の進行方法も、使っている難しい言葉も、まるで100年前から時間が停止しているみたいだと思いましたね。

民主主義の今日的な機能は、ルールのなかで何度も改善を続けられることだから、区議会をもっと自由闊達に活動するといいなと思います。

暮らしやすい目黒区をつくるならば、時代感覚に合った区議会運営が絶対に必要だと思います。改革ができない区議会は税金の無駄遣いだと言われても仕方がないと思いますし、興味を持ってもらえないのもうなずけます。

新人区議12か月活動のご報告 いま区民のみなさんへ お話ししたい5つのこと



立憲民主・
目黒フォーラム
金井ひろし

5 もっともっと暮らしやすい 目黒区にしたい

この12か月で、一般質問といって区政全体について自分が問題意識をもった行政問題について質問することを2度やり、目黒区の予算を議論する予算委員会でも多くの質疑をしました。

そうした議会活動で、区役所のフードロスを指摘したり、税金の効果的な使い方を提案したり、学童保育の延長が決まり、特別支援学校・学級において支援員の予算を5割増額することが始まりました。改善が進んだのです。

こうした改善は、私が聞いた区民のみなさんの声が区役所の現場の人たちに届いたからできたことです。

小さなことから、ひとつひとつ議会で質問するなり、区役所の現場の人たちと議論していけば、改善が実現するのだということを学びました。

この姿勢がブレないように、区議の仕事をしたいたい私は思いました。

いまは「コロナ」対策に全力で取り組んでいますが、次の12か月も、区民のみなさんと「共に生きる」区議として活動していきたいのです。

ご意見ご要望などありましたら、ぜひ私に声をお掛けください。よろしくお願いします。



山本ひろこさん獅子奮迅の善戦！目黒区長選挙

山本ひろこさん、素晴らしく頑張りました。

4月19日に投票があった目黒区長選挙に、同僚区議の山本ひろこさんが「あたらしい目黒区は、あたらしい目黒区長でつくる」をスローガンに「つながる区長」「児童虐待ゼロのまちへ」「学校給食の無償化へ」の公約を掲げて立候補しました。

私と「かなえるカナイ後援会」は、山本ひろこさんを支持し、全力をあげて選挙応援活動に取り組みました。

選挙の結果、山本ひろこさんは有権者のみなさんから26,908票の支持をいただき、あと一步のところまで善戦しましたが、残念ながら3,270票の僅差で新区長誕生を実現できませんでした。

この区長選挙選中に候補者のひとりから区民を「選別」し「分断」し「対立を煽る」主張がありました。「選別」「分断」「対立を煽る」は、「共に生きる」とことと正反対の、とても怖い主張ですから、安心して暮らせる目黒区をつくることができないと私は思います。

区長に選ばれた青木英二さんには「選別」「分断」「対立を煽る」ことのない区政を切望します。



多様性を誇りに。わかちあうことを力に。支え

Create a society where everyone can pride themselves on living in a diverse society, find

다양성을 자랑스러워, 서로 나눔을 힘으로, 서로 도와주는것으로 안심을

「子育て世代」と 「猛威をふるう新型コロナウイルス感染症」 子どもに説明できない情報の混乱と不足は問題です 「決断」に名をかりた不意打ちはやめてほしい!



4月7日、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大状況において、日本政府は東京都をふくむ7都府県に「緊急事態宣言」を発令しました。4月16日に全国へと拡大し、現在のところは5月末まで続く見通しです。

新型コロナウイルスが正体不明で、有効な治療方法が開発できていないので、今後の見通しが立たない状況であることはわかります。

しかし、これまで日本政府がおこなった対策や要請について、丁寧な説明と的を得た情報公開がおこなわれてきたとは、とても思えません。政府は私たちが防御対策と生活防衛に苦慮している現実を、ご存知ないのかと思います。

なぜなら、いまも、丁寧な説明がなく、情報が不足し、さらに混乱しているというのが、私たちの実感です。

このことで、いちばん困るのは、子どもに正確な説明をし、理解させて、安心させ、安全を守ることが困難になっていることです。「突然の休校要請」が出たときに、つくづくそう思いました。

正確な情報を発信し、理解しやすい説明を積み重ねることなく、いきなり「休校要請」が飛び出して、私たち子育て世代はその意味を正確に理解できず、したがって子どもにわかりやすい説明ができませんでした。そして毎日の生活は大混乱し、保育も学童も学校も大混乱しました。

いまは初期の大混乱がややおさまったかに見えていますが、それは現場力が発揮されたからです。しかし生活の困難さが解決したわけではないし、時間がたつにつれ困難さが増していると思います。それは感染したかもしれない人たちが置き去りにされている状況や、生活が困窮し命すら守れなくなっている人たちが救われていないからです。

これではすべての人びとが安心できません。ようするに政府が信用できなくなっています。いまは私たちがそれぞれに、相互の状況を理解しあい、わかちあうことを力にして、支え合うことを安心にしているだけです。

私は区議として、目黒区の新型コロナウイルス感染拡大の対策の総点検をしたいと思って活動を開始しています。

いま私たちの国は、新型コロナウイルス感染症の「緊急事態宣言」と「原子力緊急事態宣言」の両方が発令されている国なのです。

報告

2020年 第1回定例区議会を終えて 納得がいかない摩訶不思議な経験をしました!

2月18日から3月23日までの第1回定例区議会は、区の年度予算を審議し決定する予算特別委員会とセットで開催されました。

新人区議の私は予算特別委員会に初めて出席しましたので、頑張って「監視カメラ」「災害用備蓄食料」「区長選予算」「住区センター使用料」「福祉」「差別のない教育」など11点の質疑をしました。その質疑応答の様子は、区役所ホームページの「インターネット議会中継(録画)」の「金井ひろし」で、ぜひご覧下さい。

この定例区議会で経験し驚き、納得いかなかったことは、ある議員が区長に要望しても通らなかった案件を、最大会派の別の議員が同じ要望をすると通ってしまったという摩訶不思議な現実でした。これはダメです。少数意見を無視する区長権力行使はやめてほしい。少数意見の尊重こそが民主主義の基本です。



目黒区にある東京音楽大学の学生たちによる議場コンサートもありました
(写真提供:宮内さん)

第3回区政報告会&タウンミーティング開催 「区民のみなさんの声は私のエネルギーです!」

区民のみなさんと顔をあわせて区政報告をして話し合い、ご意見やご要望をいただく「区政報告会」を、2月16日の日曜日午後2時から自由が丘住区センターで開催しました。

15名の区民のみなさんがご参集下さり、衆議院議員の手塚よしおさんも参加されました。

日々の暮らしの問題点や区長選挙、さらには国政まで、さまざまな話題を語り合い、区議活動を充実させるための多くの収穫をえました。

私のエネルギーは区民のみなさんの声なのです。

ぜひ!「区政報告会」タウンミーティングにお気軽にご参加下さり、みなさんの暮らしの問題点や生活のご意見を聞かせて下さい。

今回は「コロナ」が落ち着いた時期に開催します。



参加者全員、区民のみなさんも議員も同じテーブルで顔をつき合わせて語り合います。これ基本です!

合うことを安心に。 目黒区議会議員 金井ひろし

strength in compassion of others and ensure security by supporting one another.

我们以多样性为荣,合力前进,互为股肱,安心宜居。

立憲民主党

今年も2月を中心にして 学生インターンが区政と地域活動の 現場を体験しました

成人式をおえた学生と、まだ十代の学生2人の大学生たちが、私と共に地域活動をして自治体政治を学び考えてくれました。私にとっても若い人たちとの活動は新鮮な刺激になりました。

学生インターンのひとりMMさんは「子ども食堂」の参加が印象深く「さまざまな団体や個人が協力している活動であり、ひとつの地域コミュニティの場になっているのだと感じました」とレポートしました。

またMYさんのレポートには「駅頭でチラシ配りをしましたが、若年層の政治への関心の低さを痛いほど感じました。実は私もそのひとりでした。まずは自分自身の言動を改めていきたい」とありました。

近未来の社会を建設する若者たちの政治経験でした。



「子ども食堂」が地域コミュニティだと理解してくれました



「若者の多くが受け取ってくれなかった」駅頭ビラ配布活動

大切な日韓友好の 講演会を開催しました

2月23日は「戦争はごめんだ、いのちを守るオールめぐろの会」主催の「日韓友好を市民からはじめよう！ 徴用工問題と歴史認識」に同会の事務局のひとりとして参加し、在日韓国民主統一連合の宋世一さんと明治大学教授の山田朗さんの講演を聞きました。定員ぴったり満員の75人のみなさんが集まりました。日韓の正確な歴史認識を学びました。



2月2日は「青少年プラザ館まつり・ウインターフェスティバル 2020」の第2日に参加しました。ワークショップの作品展示や体験、研究発表、音楽や踊りや演劇の舞台発表まで、学んで遊べるバラエティに富んだ若者たちのフェスティバルでした。

民営化した水道は、 もう一度公営化できる！

2018年に改正水道法が成立して、日本は水道民営化（コンセッション方式）ができる国になった。しかし民営化によって水道料金が高騰し「水貧困」が生まれた欧州諸国では、パリ市をはじめとして「再び公営化」へ舵を切った自治体がある。

さて、日本はどうする？
この本で学習しました。



岸本聡子・著／
集英社新書
「水道、再び公営化！
／欧州・水の闘いから
日本が学ぶこと」
定価：本体価格820円＋税
ISBN978-4-08-721113-9

5 /
開催延期
/ 24

金井ひろし区政報告会 & タウンミーティング 第4回

ご意見ご要望をぜひお伝えください！ わかりやすく区政報告します！

5月24日に予定しておりました、この区政報告会&タウンミーティングは、新型コロナウイルス感染拡大のために「開催延期」と致します。次回の開催が決まりましたら、区民のみなさんへすみやかにお知らせいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

